



JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

決算説明会

— 2013年3月期 —

2013年5月28日

株式会社JSP

本日の出席者

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

取締役社長 塚本 耕三

第一事業本部長 寺西 耕一

第二事業本部長 臼井 宏

経理財務本部長 山本 均

総務人事本部長 斉藤 吉成

経営企画本部長 近藤 正

1. 2013年3月期決算概要
(以下、2012年度実績)
2. 2014年3月期決算見通し
(以下、2013年度見通し)

決算概要

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	11年度 実績	12年度 公表	12年度 実績	前年比	公表比
売上高	93,397	97,000	96,038	103%	99%
営業利益	5,296	6,000	4,575	86%	76%
経常利益	5,536	6,100	4,927	90%	81%
当期純利益	3,100	4,000	3,324	107%	83%

- 為替の急激な変動
- 原燃料価格の上昇
- 日本国内の家電市場が低迷
- 南欧諸国の債務問題が継続
- 世界の自動車販売台数は大幅に増加
- 世界的なスマートフォン・タブレット端末の急速な普及

押出事業

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 実績	前年比
売上高	34,585	35,148	102%
営業利益	2,557	2,386	93%

景気低迷で一般包材需要縮小、復興需要・高断熱住宅で断熱材需要増加

- 食品トレー、丼容器「スチレンペーパー」は底堅い需要により売上は前年並み。
- 広告用・折材「ミラボード」は家電量販店向けが低調で売上減少。
- 産業用包装材「ミラマット」は永久帯電防止製品は堅調、一般向け家電製品の国内生産減で売上減少。
- 産業用包装材「キャプロン」は家電市場低迷による需要縮小で売上減少。
- 産業用通い函「Pボード」は家電市場低迷による需要縮小で売上減少。
- 住宅用断熱材「ミラフォーム」は復興需要、高断熱住宅の需要増で売上増加。
- トラック緩衝材「ミラプランク」は景気低迷による物流量減で売上減少。

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 実績	前年比
売上高	52,869	55,447	105%
営業利益	3,212	2,688	84%

EPP:自動車回復・スマートフォン関連包材好調、EPS:原料高で利益悪化

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(英名ARPRO)
 - 日本:自動車資材は前半堅調も後半減少、スマートフォン包材需要増で前年並み。
 - 米国:米国自動車販売台数はリーマンショック前に戻り売上増加。
 - 工業用部品通い函、グラウンド基礎緩衝材、一般緩衝材も好調。
 - 欧州:債務問題で自動車販売台数の減少により売上減少。
 - アジア:スマートフォン関連包材、自動車部品の需要増で売上増加。
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロダイア」
 - 震災復興の遅れ、漁獲高の減少等で売上減少。原料急騰で利益悪化。

「ピーブロック」生産能力増強で需要増に対応

中国（東莞）生産能力増強



中国（東莞）2012年8月増設完了

生産能力(中国全体)
年間9,000 t → 14,000 t

ブラジル生産能力増強



ブラジル第2工場 2012年9月完成

生産能力(ブラジル全体)
年間1,500 t → 5,000 t

その他

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2011年度 実績	2012年度 実績	前年比
売上高	5,942	5,442	92%
営業利益	△5	1	—

国内の家電市場は低迷、中国は日本製品の買い控えで苦戦

- 国内一般包材
家電市場の低迷により販売は前年に引き続き低調。
- 中国一般包材
上期は、スマートフォン・タブレット端末関連包材が好調に推移したが、下期に入り日本製パソコン、デジカメ等の買い控えで売上減少。

連結経営成績

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2012年度	96,038 (2.8%)	4,575 (△13.6%)	4,927 (△11.0%)	3,324 (7.2%)
2011年度	93,397 (1.6%)	5,296 (△29.9%)	5,536 (△29.7%)	3,100 (△36.5%)

包括利益 : 2012年度 6,808百万円(253.8%) 2011年度 1,924百万円(△29.0%)

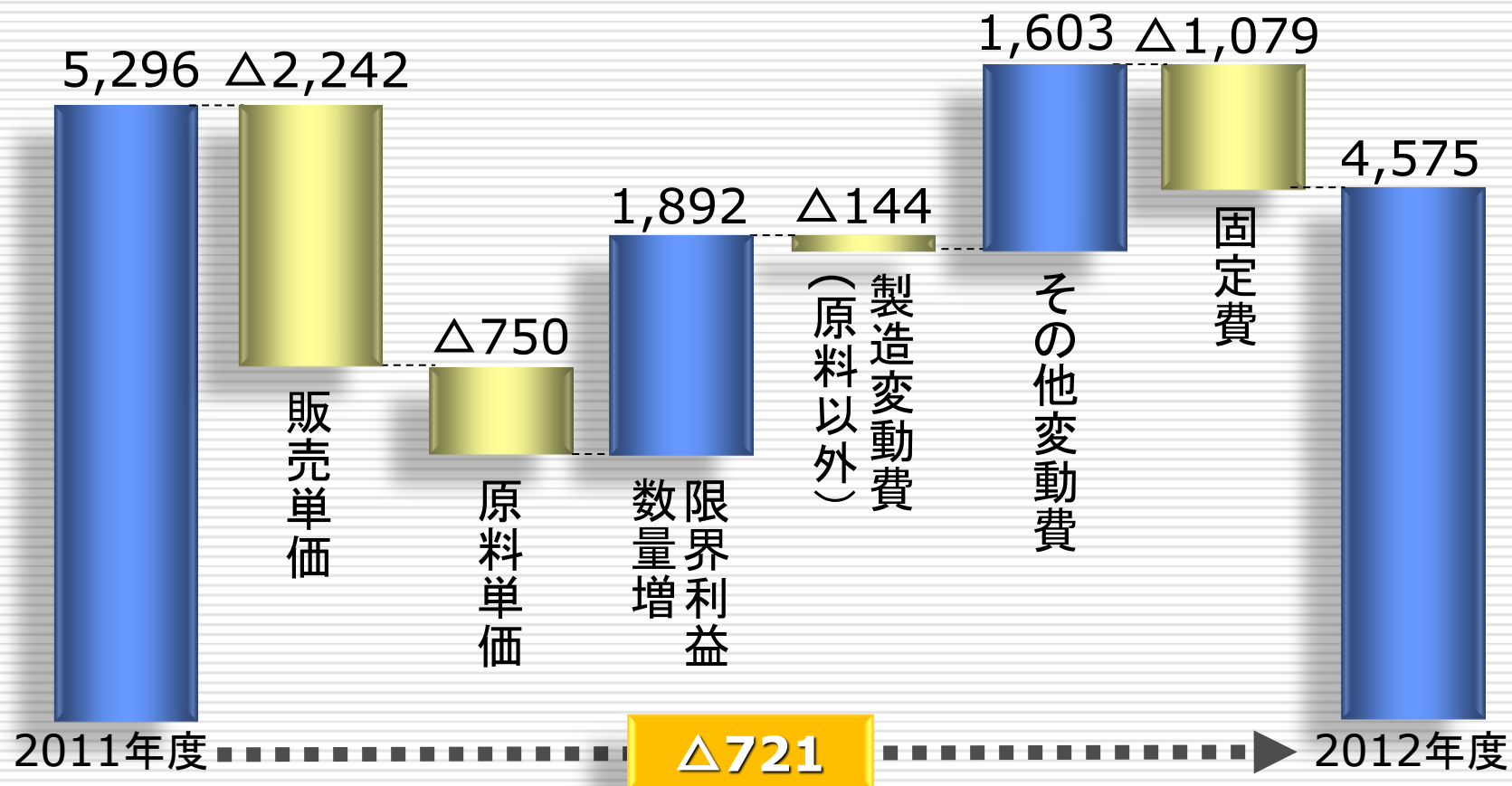
	1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2012年度	111円49銭	7.0%	5.3%	4.8%
2011年度	103円98銭	7.0%	6.2%	5.7%

営業利益の増減要因

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位: 百万円)



営業外損益・特別損益

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

営業外損益

(単位:百万円)

科目	金額
受取利息	209
その他	588
営業外収益合計	798
支払利息	201
その他	243
営業外費用合計	445

特別損益

(単位:百万円)

科目	金額
投資有価証券売却益	19
その他	25
特別利益合計	44
固定資産除却損	55
減損損失	110
その他	52
特別損失合計	219

財政状態

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2012年度末	95,565	53,431	52.2%	1,671円55銭
2011年度末	89,072	47,362	50.2%	1,499円89銭

(参考)自己資本 2012年度末49,838百万円 2011年度末44,721百万円

貸借対照表

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

分類	科目	2011年度末	2012年度末	増減額
資産の部	流動資産	50,073	52,883	2,809
	固定資産	38,999	42,682	3,682
	資産合計	89,072	95,565	6,492
負債の部	流動負債	30,068	31,251	1,183
	固定負債	11,641	10,881	△759
純資産の部	株主資本	52,843	55,272	2,429
	その他包括利益累計	△8,122	△5,434	2,688
	少数株主持分	2,641	3,593	952
	負債純資産合計	89,072	95,565	6,492

純資産の部

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

科 目	2011年度末	2012年度末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	30,681	33,111	2,429
自己株式	△1,371	△1,372	△0
株主資本合計	52,843	55,272	2,429
その他有価証券評価差額金	148	139	△9
為替換算調整勘定	△8,270	△5,573	2,697
その他包括利益累計	△8,122	△5,434	2,688
少数株主持分	2,641	3,593	952
純資産合計	47,362	53,431	6,069

キャッシュフロー

設備投資・減価償却・研究開発

2012年度実績

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

キャッシュフロー

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2012年度	7,522	△5,783	△1,160	7,015
2011年度	5,532	△6,138	△3,602	5,976

設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2012年度	6,215	4,390	1,933
2011年度	6,006	4,607	1,853

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

1. 2013年3月期決算概要
(以下、2012年度実績)
2. 2014年3月期決算見通し
(以下、2013年度見通し)

決算概要

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2012年度 実績	2013年度 見通し	前年比
売上高	96,038	101,000	105%
営業利益	4,575	6,500	142%
経常利益	4,927	6,700	136%
当期純利益	3,324	4,300	129%

中期経営計画「Deepen & Grow」の2年目、初の売上高1,000億円超え

- 為替レート US\$=¥80 Euro=¥100
- 1株当たり配当金(予想) 中間配当金 普15円 } 年間配当額 普30円
期末配当金 普15円 }

国内事業は回復基調、海外事業は好調に推移し増収増益を見込む

■ 国内事業

国内景気は緩やかな回復基調で推移

- 緊急経済対策に伴う公共投資の増加
- 震災復旧・復興関連事業の進展
- 次世代断熱基準義務化に向けた高断熱材需要の増加
- 消費税率の引上げを見据えた耐久財消費や住宅投資の駆け込み需要の増加

■ 海外事業

海外ピーブロック(英名ARPRO)は、地域によりまだら模様であるが、総じて好調に推移し過去最高数量を見込む

- 自動車資材関連では自動車生産台数が北米、中国、新興国を中心に引き続き高レベルで推移
- 包装材関連ではアジアを中心にスマートフォンやタブレット端末などの多機能電子機器の生産が好調を継続

押出事業

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2012年度 実績	2013年度 見通し	前年比
売上高	35,148	37,938	108%
営業利益	2,386	2,394	100%

高性能断熱材ミラフォーム・液晶パネル等の表面保護材ミラマットの拡販に注力

2013年度 重点施策

高性能断熱材「ミラフォーム」の生産能力増強と拡販

復興需要による土木用資材「ウォールブロック」の拡販

スマートフォン・タブレット端末関連包材「ミラマット」の拡販

巨大食品市場での「スチレンペーパー」の拡販

押出事業 具体的施策

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

成長分野での拡販に注力

高断熱住宅 震災復興需要

- 断熱材の省エネ基準改正
- 復興需要の本格化
- 消費税増税前の駆け込み需要



ミラフォーム
生産能力増強と拡販



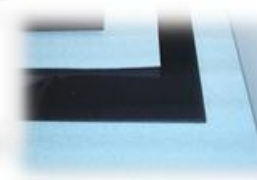
ウォールブロック
拡販

スマートフォン タブレット端末

- 輸出対応技術の確立
- 更なる薄肉化技術の確立



ミラマット 技術のブラッシュアップ
差異化で事業領域拡大



巨大食品市場 (安定市場)

- 安定的で巨大市場
- 独自技術による新製品投入
- 販売先との関係強化



スチレンペーパー
生産能力増強と拡販

ビーズ事業

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2012年度 実績	2013年度 見通し	前年比
売上高	55,447	56,938	103%
営業利益	2,688	4,658	173%

ピーブロック国内外で増収増益、スチロダイアの利益改善

2013年度 重点施策

ピーブロック 北九州工場の新設とグローバル体制の拡充

ピーブロック 自動車部品での新しい部位採用拡大

ピーブロック 自動車資材以外の用途拡大

スチロダイア 販売価格是正・コスト低減で利益改善

ビーズ事業 具体的施策

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ピーブロック グローバル展開を加速

生産能力100,000tへ

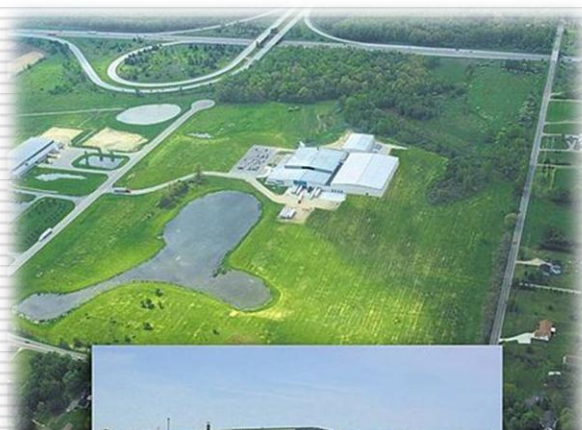


ビーズ事業 具体的施策

2013年度見通し

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

ピーブロック 自動車部品以外の用途拡大



米国ジャクソン成形工場
2011年8月取得



太陽光熱発電
断熱材



水浄化資材



家庭用
グラウンド基礎材



工業用部品通い函

株式会社JSP

JSP Corporation
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ Tel 03-6212-6306 IR室
